



診療対象・設備パンフに

情報共有、患者紹介で連携

製鉄記念室蘭病院

製鉄記念室蘭病院(室蘭市知利町1)は所属する医師の得意分野や診療実績をまとめた「地域医療連携パンフレット」を初めて作製した。西胆振の医療機関との連携を強化するため、各医療機関が患者を紹介する際の参考にしてもらう。室蘭保健所は「医療機関の役割分担を促すユニークな取り組み。医療資源の効率的な利用につながる」としている。(生田憲)

パンフレットは診療科別に「肺がん」「気管支ぜん

医師の専門性や検査・治療実績などをまとめた地域医療連携パンフレット

そく」など主に診療対象としている病名を列挙し、医師の顔写真付きプロフィール、手術や検査の実施数、主な医療設備などを紹介している。A4判カラー40ページ、200部作製し、西胆振の約170の医療機関に配布した。限られた医療資源を効率的に活用するには、1次医療(通常の外来診療)を担う診療所などの小規模な医療機関と、高度医療を提供

する2次医療機関の総合病院がすみ分け、患者の紹介と受け入れを円滑に行う必要がある。ただ、総合病院の医師は転職などで常に同じ専門の医師が常駐しているとは限らず、医療機関同士の情報共有が課題になっていた。

製鉄記念病院が2015年に他の医療機関から患者の紹介を受けた件数は10年比1023件増の6843件と急増しており、地域医療連携課の鈴木正信課長は「パンフレットを足掛かりに地域医療機関の医師との信頼関係を構築し、高度治療が必要な患者を円滑に受け入れていきたい」と話している。